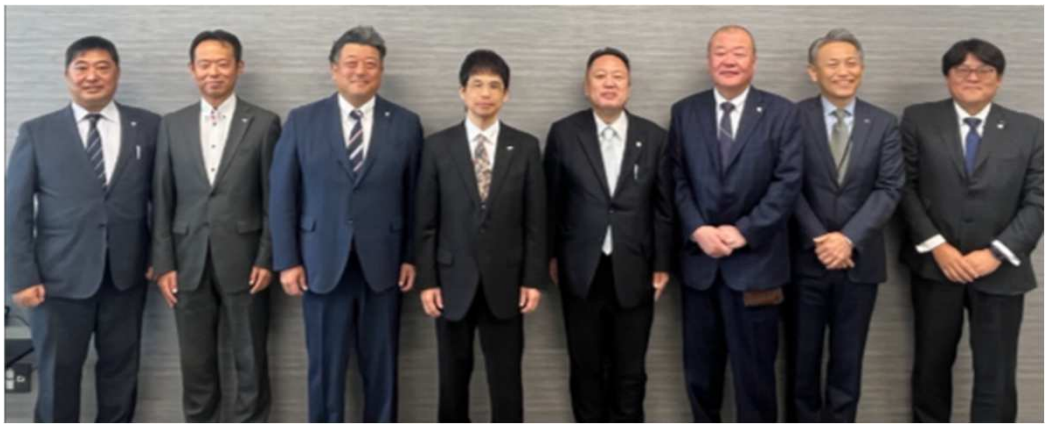
地域企業の未来を、保証・金融・会計の連携で支える

島根県信用保証協会 × ＴＫＣ中国会

トップ対談開催報告



トップ対談　概要

開催日：令和８年１０月２２日（木）
場所：島根県信用保証協会　本店

【島根県信用保証協会】
・野津建二会長（令和８年１０月に会長就任）
・大野浩伸業務統括部長
・坂本豪総務部長

野津様の会長就任に伴い、
昨年に続きトップ対談を実施

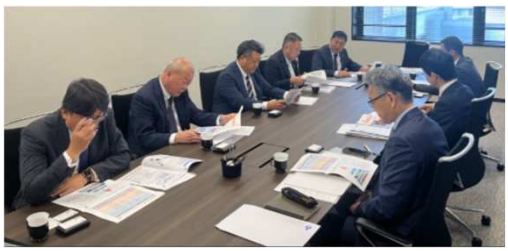
【TKC中国会】
・安部知格会長
・髙橋美晴相談役
・福田龍太島根県支部長
・竹内宏規中小企業支援委員長
・井原祥雅全国会金融機関等関連小委員会特別委員

1 正確な会計情報を基礎に、地域企業への支援を強化

島根県信用保証協会からは、信用保証は正確なエビデンスに基づく判断が重要でありＴＫＣ会員による月次巡回監査や情報提供が保証判断に役立っていると説明いただきました。正しい会計情報を基にして地域中小企業へ寄り添い、金融・商工業振興を通じて地域中小企業の発展に貢献していく必要性を共有しました。

2 島根県信用保証協会の伴走支援・専門家派遣

島根県信用保証協会は、金融機関や税理士等と伴走支援されていること、専門家派遣では、販売促進や経営計画策定等の支援が多く、活性化協議会等とも連携して再生支援を進められていることが共有されました。また、創業時の保証料負担を抑える制度や、企業間のビジネスマッチングについても紹介いただきました。



3 TKCモニタリング情報サービス（ＭＩＳ）を、保証・経営支援へ活用

電子申告と同時に決算書等を迅速に提供できるほか、中小会計要領チェックリスト、書面添付、月次巡回監査の実施状況も提供できることを島根県信用保証協会から高評価いただきましたが、決算書等提供サービスの利用申込は490件、月次試算表提供サービスの利用申込は134件に留まっているため、さらなる推進を依頼いただきました。資金繰りや経営課題のある企業は、年次だけでなく半期・四半期・月次の情報提供を通して、早期対応を図る必要性を確認しています。

4 対談で共有された具体的な連携

（1）決算報告会への共同参加

経営課題のある企業は特に、決算報告会へ税理士が参加することをお願いしたいとの依頼受け、経営者、ＴＫＣ会員、金融機関、保証協会が企業の現状や今後の方向性を共有する重要性を確認しました。

（2）保証制度の周知と気軽な相談

島根県信用保証協会の制度をＴＫＣ会員事務所と企業へ伝え、資金ニーズや支援策を協会職員へ相談できる関係を深めます。

（3）早期経営改善計画への支援

制度変更後も企業負担を抑えて活用できるよう、保証協会による支援策の検討を打診しました。

（4）地域企業情報の連携

売却ニーズに対して不足する買い手情報などを共有し、ビジネスマッチングと事業継続支援に繋げることも話題になりました。

5 今後の方向性

野津会長から「保証協会には様々な制度があるため、支援を必要とする中小企業へしっかり周知していく。中小企業の負担を少しでも軽くしていくために引き続き協力してほしい」とのお言葉をいただきました。①ＭＩＳ利用件数の拡大②決算報告会・連携面談の共同実施③保証制度の共同周知④早期経営改善計画・マッチング支援を通して、島根県信用保証協会との連携をさらに深め、中小企業の未来を支えていきます。

作成：TKC山陰SCGサービスセンター